

フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数

本年（4月第1半旬～11月第6半旬）のハスモンヨトウの総誘殺数は、土浦市、筑西市、鉾田市および龍ヶ崎市のいずれの地点も平年並でした。

土浦市、筑西市および龍ヶ崎市では9月に入ってから、鉾田市では10月に入ってから誘殺数は増加し、土浦市では10月第3半旬、筑西市では9月第5半旬、鉾田市では10月第2半旬、龍ヶ崎市では9月第5半旬に大きな誘殺ピークがみられました。

また、病害虫防除所の巡回調査圃場においても、9月では大豆、秋冬ハクサイの圃場で発生を確認し、10月では秋冬ハクサイ、冬レタス、ナシ（収穫終了後）、イチゴ（施設）の圃場で発生を確認しました。

11月第6半旬現在、露地におけるハスモンヨトウの発生はほぼ終息したと考えられるため、本年度のデータ更新は今回で終了します。なお、施設栽培では低温期でも加害が続くので、本虫が発生しているハウスでは防除を徹底してください。

